

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は国連憲章違反だちに停戦し、ロシア軍の即時撤退を求めます

フェニックス PHOENIX

＜発行者＞
航空安全推進連絡会議 03-3742-9359
日本乗員組合連絡会議 03-5705-2770
航空労組連絡会 03-3742-3251
http://www.kohkuren.org/

当該2労組と会社が争議解決で合意



夏休み繁忙を迎えた羽田空港。7月22日

原告の思い最優先に判断 多くの皆さんの支援のおかげ

JFU CCU

JAL解雇争議

JAL解雇争議をめぐる闘いは、会社から提案された「被解雇者全員を対象とした業務機会の提供」および「争議解決協定書（合意書）」案について、当該労組（CCU、JFU）は内部論議を踏まえ提案を合意し、争議を最終的に解決しました。日本航空は、6月23・24日に開催されたJFU・CCUとの特別協議で、新たな被解雇者組合員全員を対象とした業務機会の提供、②新たな

添う制度を考えた結果、業務委託による業務の提供に至った。1年輪に関係なく、介護などで時間的な制約があっても、他社で就労されている方も、テレワーク等により一定の業務を行ってもらえれば報酬をお支払いする」と説明しました。また、「解決となった節目に、何らかのメッセージを出すことを検討したい」としています。会社提案を踏まえた内部論議を重ね、CCUとCCU被解雇者組合員（44名）は7月13日、日本航空と争議解決の「合意書」締結を確認しました。合意を受け、CCU被解雇者一同の報告ならびに御礼の文書が7月14日に、またCCU執行委

員会は7月16日に声明を発表しました。声明は「CCU要求とは乖離はあるものの、被解雇者の業務提供を受けてみないで前に進んだ」と「これらがJALに貢献できる業務ならば喜んで就く」という思いを最優先とし、合意締結を決定するに至りました。「業務復職は叶えられませんが、現在までに3名のCCU被解雇者組合員が地上職で復職ができました。この3名の復職は、日本の労働運動史に大きな足跡を残せるものと確信しています。」労使関係の正常化に繋ぐ4項目が合意書に記載された点であり、JFUの全体的な労働者を守るものと受け止めています」と述べます。

JFUは7月22日に開催した臨時大会で、整理解雇問題に関する協定書（合意書）を決定しました。決定を報告する文書では、「整理解雇問題に関する労使間の紛争状態は解消されましたが、これは限定的な整理解雇を容認したというところではあるものの、経営の失敗を労働者押し付けられる整理解雇という手段は、最大限に避けられるべき」と2010年当時の職場不当労働行為が横行し、大変な混乱の中になりました。雇用を守る取り組みは、労働組合の存在意義に関わるものです。解決協

■主な記事から■

- ▶グラハン連、航空局にグラハン職場のアンケート結果を説明、局と質疑行う……………2面
- ▶客室乗務員の今一〇日欧迂回ルートで長時間乗務。ルフトハンザ航空は休日増で対応……………2面
- ▶オランダ航空CA雇止め裁判、1・2・4陣は2回に分けて証人尋問、第3陣判決は延期……………3面
- ▶「新型コロナと航空」一外航、国際線を再開・増強。一方、人員不足で欠航相次ぐ……………3面
- ▶「安全会議だより」一那覇空港第2滑走路の安全性向上。誘導路中心線灯など設置……………4面

労働相談は航空連に
03-3742-3251
e-mail/honbu@kohkuren.org

新型コロナと航空

新型コロナウイルスの感染対策として始まった各国での入国制限は、大幅な制限の緩和、あるいは完全撤廃されたことで、国際線の本格的な回復への動きが加速してきています。一方、あらゆる職種で的人员不足を背景に、欧米では空港での

外航、国際線を再開・増強

市もあります。こうしたなか6月以降、民間航空輸送の回復が加速するのに伴い、中国の複数の航空会社が新たな国際線の再開の計画を相次いで発表しています。中国国際航空は7月、北京―ミラノ、北京―ドリード間の週1往復な

3面へ続く

新型コロナウイルスの国内感染者は、7月23日に20万人を超え、1日あたり約1万5000人の新規感染者が過去最多を更新し、第7波の勢いは止まりません。●コロナ病棟も急速に埋まり、医療提供体制への影響が開始、救急外来や一般診療を停止する医療機関も出ています。専門家は、拡大傾向はまだ続くと警戒を呼び掛けています。●医療現場では、医師や看護師が感染したたり、濃厚接触者になったりして出勤できないケースが続出しています。●アメリカ・オレゴンで開催されている世界陸上で、女子マラソンに出場予定だった選手のうち2選手がコロナ感染で出場できなくなりました。日本のJリーグでも感染が相次いでおり、ヤクルトでは1軍の大半が離脱。巨人では選手やコーチ、スタッフなど合わせて76人が陽性判定。感染者が広がれば今後の試合運営にも影響が出そうです。●航空界も例外ではありません。羽田空港は勤務する知人の会社では、20人を超える人がコロナで休んでいるとのこと。福岡空港の知人からは「コロナによる休みが多く、出勤計画が大きくマシアップが急ぐ」といいます。●急増する感染者、照り付ける暑さ、人員不足が予想される現場、無理をしない、させない。JALも2022年7月31日、空の安全、平和を考える。

誘導路

新型コロナウイルスの国内感染者は、7月23日に20万人を超え、1日あたり約1万5000人の新規感染者が過去最多を更新し、第7波の勢いは止まりません。●コロナ病棟も急速に埋まり、医療提供体制への影響が開始、救急外来や一般診療を停止する医療機関も出ています。専門家は、拡大傾向はまだ続くと警戒を呼び掛けています。●医療現場では、医師や看護師が感染したたり、濃厚接触者になったりして出勤できないケースが続出しています。●アメリカ・オレゴンで開催されている世界陸上で、女子マラソンに出場予定だった選手のうち2選手がコロナ感染で出場できなくなりました。日本のJリーグでも感染が相次いでおり、ヤクルトでは1軍の大半が離脱。巨人では選手やコーチ、スタッフなど合わせて76人が陽性判定。感染者が広がれば今後の試合運営にも影響が出そうです。●航空界も例外ではありません。羽田空港は勤務する知人の会社では、20人を超える人がコロナで休んでいるとのこと。福岡空港の知人からは「コロナによる休みが多く、出勤計画が大きくマシアップが急ぐ」といいます。●急増する感染者、照り付ける暑さ、人員不足が予想される現場、無理をしない、させない。JALも2022年7月31日、空の安全、平和を考える。

局とグラハンの現状を確認

グラハン連

アンケート結果・職場実態を説明 アクションプランについて質疑



航空局の見解を聞くグラハン連メンバー

航空連グラハン連は7月8日、航空局に4月に取り組んだ「2022年ランドハンドリング職場の安全・健康アンケート」の特長を説明し、安全監査での指摘事項やグランドハンドリング・アクションプラン(自動運転等)の進展状況について航空局の見解を聞きまし

いた。質疑は昨年に続きWEB形式で行われた。航空連からは島田副議長(クラウン連事務局長兼事務、佐々木幹事(同事務局兼務)、谷口グラハン連事務局、飯岡グラハン連事務局、JGS労組・大熊委員長が出席。航空局からは航空安全室、航空セキュリティ部、空港技術課と5部門の担当者が対応しました。

グラハン連からは、アンケートでは「安全が向上した」24・1%に対して「安全が低下した」33・2%。低下の理由として「人員不足」「教育・

経験不足」「個人の技量の低下」「ミス」「減便による作業機会の減少」が指摘されています。6割超が業務量に比べ人員不足と答へ、人員削減の影響による有期雇用の減少傾向が示されました。健康については約5割超が「自覚症状あり」「不安を感じる」と答へ、自覚症状や不安の内訳では多い順に「腰痛」や「ストレスを常に感じる」、「疲れがとれない」となりました。睡眠時間調査では1日の平均睡眠時間が「5時間未満」「6時間」と答へる割合が67・3%となり

ました。昨年引き続きコロナ禍で3度目となったアンケート調査。経済面や技術面に様々な影響を与え、賃金の減少が生活不安を招き健康に影響を与えているとを明らかにした。グラハンに見切りをつけ退職する者も後を絶たない。航空需要の回復はこうした影響と相まって時期差を招きかねない。こうしたリスクに備えるために賃金を引き上げ退職に歯止めをかけ、さらには人員・器材の準備を整える必要があることを提起しました。

航空局からは、21年度安全監査・報告義務があるもので未報告が3件あったが、いずれも大きく影響するものではないと答へました。グラハン連からは、JGSでの人員や賃金の減収実態、ANAグループのグラハン会社での諸施策の

実態について着目したアンケート調査。経済面や技術面に様々な影響を与え、賃金の減少が生活不安を招き健康に影響を与えているとを明らかにした。グラハンに見切りをつけ退職する者も後を絶たない。航空需要の回復はこうした影響と相まって時期差を招きかねない。こうしたリスクに備えるために賃金を引き上げ退職に歯止めをかけ、さらには人員・器材の準備を整える必要があることを提起しました。

男女賃金格差開示が義務化

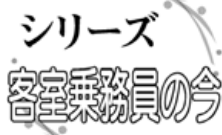
ジェンダーギャップ指数116位

厚労省は7月8日、女性活躍推進法(省令)・告示を改正し、即日施行しました。同改正では、女性の活躍に関する情報公表項目として「男女の賃金の差異の開が義務化されました。来年度からですが、従業員30人以上の全企業が対象になります。

換算で最低賃金を下回っていることが分かります。後者は正さされています。経団連は労働組合の指摘に対し、あれこれ理由をつけて是正することを怠ってきたが、はららかにしや脱法化することは許されません。

賃金格差ではありませんが、入学試験で男性にだけ点数に下駄をはかせていたケースが明らかになりました。問題は明らかですが、まずはあなたの会社の男女格差の是正から始めましょう。

日欧間の迂回ルート ルフトは休日増など勤務配慮



シリーズ 客室乗務員の今

ロシアによるウクライナ侵攻により、日欧便は迂回ルートを運航し、乗務時間は大幅に増加しました。日欧航空会社の対応の違いが明らかに。本邦航空会社は安全確保のためロシア上空を回避する迂回ルートを取らざるを得なくなり、JAL・ANAともに行きは北回り、帰りは南回りルートを余儀なくされてい

ます。迂回ルートのフライトタイムはオリジナルから約2〜4時間も長くなり、昨今の需要の急激な回復も重なり客室乗務員からは「疲労困憊で注意力が低下した場面もあった」など、疲れを訴える声も数寄せられています。適切な対処が求められますが、JAL・ANAも客室乗務員の労働環境に特別な配慮はないと見えます。



迂回ルートの長時間勤務に対する疲労感

ルフトハンザ航空の客室乗務員によると、日本線業務後(JAL・ANAと同様に4日の勤務パターン)の休日、オリジナルの6休日に1日追加され7日となります。乗務中の機内でのレストは5時間とされるため、「十分なレスト時間と帰国後の休日増で疲労は解消される」と話します。またルフトハンザでは、JALやANAで実施されているヒジネスデスクの「いつでも注文できる食事サービス」は廃止されています。客室乗務員のレスト時間に影響を与えるからだと、会社及び運

務のなかでも旅客の安全など、保安任務を課せられる。Aにとって休息時間の確保は重要な意味を持します。2020年10月、運航乗務員向けの客室乗務員に対する疲労リスク管理(RRM)が義務化されました。安全管理規定には、運航乗務員及び客室乗務員の疲労リスクがオペレーションにおいて常に存在するハザードであると認識し、運航の安全を守るために運航乗務員及び客室乗務員の疲労リスクを効果的に管理し低減することを努める。そのために、会社及び運

に開催し情報共有を図ってきたと説明しました。回復傾向にあるなか、局として企業側へ何かの要請があるのかについて、「監査ではこれまでにならぬ経験をしており、慣れていた状態とは違うので、現場が困らないよう要請はしてきた」と答へました。

コロナの再拡大リスクが高まりつつあることから、コロナ対策を継続することも。また、欧米では、航空のあらゆる職種で人員不足に起因する減便が相次ぎ、グランドハンドリングの人員不足が深刻になっていることを指摘し、賃金をはじめとした労働条件にも自配りした行政を求めました。

順位	国名	指数
1	アイスランド	0.908
2	フィンランド	0.860
3	ノルウェー	0.845
4	ニュージーランド	0.841
5	スウェーデン	0.822
10	ドイツ(G7)	0.801
15	フランス(G7)	0.791
22	イギリス(G7)	0.780
25	カナダ(G7)	0.772
27	アメリカ(G7)	0.769
63	イタリア(G7)	0.720
115	ブルキナファソ	0.659
116	日本(G7)	0.650
117	モルディブ	0.648

※指数は1に近いほど男女平等に近い

1・2・4陣裁判
オランダ航空雇止

2回に分けて証人尋問実施へ

第3陣控訴審判決は延期 会社案踏まえ和解協議を継続

客室乗務員の雇止め撤回を願うシャバンキャビンクルーユニオン（JCU）。KLMオランダ航空雇止事件の第1・2・4陣訴訟（原告側）は7月7日、東京地裁で18回目の口頭弁論が行われ、証人尋問を2回に分けて行うことが決まりました。

1回目の証人尋問は8月29日（10時～17時）、組合側3名、会社側1名。2回目は9月15日（10時～17時）組合側1名、会社側3名です。組合側の証人は原告、会社側は日本支社他3名です。コロナ禍により裁判所では傍聴制限が行われていましたが、6月に制限は解除されました。傍聴可能数はこれまでの倍の40名程度となります。証人尋問は裁判の山場です。多くの支援傍聴をお願い致します。

東京地裁での完全勝利判決を勝ち取った第3陣訴訟（原告3名）は、会社



東京地裁前で支援を訴える原告。7月7日

「復讐に関する協議」を裁判所に伝えていたからでした。

ANA客乗の休憩問題 都労委、労使に団交指示

JOUがANAは客室乗務員の休憩問題に関する団体交渉で誠意に対応していないのは誠実団交だとして、東京都労働委員会（都労委）に不当労働行為として救済を求めている事件は、7月11日に都労委5回目の調査が行われました。

これを踏まえ、JCUはあらためて休憩に関する要求書をANAに提出（7月19日）し団体交渉を申し入れました。主な要求は、①国内線、及び近距離国際線の客室業務において、労基法施行規則32条2項に基づき、勤務時間が6時間を超えて8時間以内の場合合計45分、8時間を超える場合は合計60分、業務を行わずに心身を休められる、実質的に休憩とみなせる時間を与えること、②労基法施行規則32条2項に該当する時間を確保するガイドラインを示し、その時間が確保できない場合は、編成増やサービス削減、4レックの廃止等を検討すること、③労基法違反の申告に対する淀川労基署監督官の

回答は、「グレーの範囲内で完全自治とも黒ともいえない」「働き方改革の中で客室乗務員の勤務条件改善について会社に話している」「口頭による指導を9月中旬に行う」という内容であった。この

人員・猛暑 万全な繁忙対策を

運航も業績も回復へ

一方、人手不足で欠航相次ぐ

新型コロナと航空

1面から続く

中国南方航空は7月12日時点で、これまでに運航している国際線24路線に加え、さらに10路線を順次再開している。こうした動きに合わせて全日空は7月1日、2年3カ月ぶりに成田・北京線を再開しました。コロナによって連休していた日韓路線の羽田・金浦線が6月20日に再開され、日韓の航空当局は7月25日からは日韓の航空4社が毎日運航できる週28便まで増便するとしています。大韓航空では、9月1日から成田・仁川線に大型機のア380型機を投入するとの内容・異なる部分がある。④管理職、および客室乗務員全員に対し、労基法施行規則32条2項を遵守するための教育を行っていた。団体交渉は9月中旬に実施される予定です。

シンガポール航空は日本とインドへの輸送を増強し、年末までにコロナ前の81%まで稼働させる計画です。日本路線については、7月24日から成田・羽田線を週14便から1日3便に増強します。航空各社の業績回復も進んでいます。7月15日にルフトハンザ航空が発表した第2四半期決算の速報値では、調整後EBITは3億5000万ユーロ（3億5000万ドル）と4億ユーロが見込まれ、売上高は約85億ユーロと、昨年同期比で2倍以上となり、報道では、ルフトハンザは、当四半期に20億ユーロの大幅なプラス調整フリーキャッシュフローを達成しています。米大手3社の2022年第2四半期決算（4-



外航の運航が増加する関西空港

6月）は、デルタ航空が計画を下回るとしていますが、いずれも四半期決算では黒字が見込まれ、問題なのはキャパシティの回復ができていないことによる。人員不足を背景に欧米では空港での混乱や欠航便が相次いでいます。イギリスのヒースロー空港やオランダのスキポール空港では手荷物の輸送ができず大混乱に陥っています。

報道では、ブリティッシュ・エアウェイズは夏の旅行シーズンに1万3000便を追加航し、合計の欠航率は計画の13%に上ります。米国ではパイロット不足により地方路線の運航を取りやめる動きも出ています。デルタ航空は6月の定期便運航の3・5%を欠航しました。同社の従業員数は

6月）は、デルタ航空が計画を下回るとしていますが、いずれも四半期決算では黒字が見込まれ、問題なのはキャパシティの回復ができていないことによる。人員不足を背景に欧米では空港での混乱や欠航便が相次いでいます。イギリスのヒースロー空港やオランダのスキポール空港では手荷物の輸送ができず大混乱に陥っています。

さて、国内航空会社の状況ですが、ANA・JALの経営トップは、7月半月の営業黒字になる見通しであること相次ぎ発表し、ANAは「3年度の業績は順調。年度の利益計画の前提を上回る見通しにある」とし「今年度は確実に黒字化を達成する」と回復に自信をみせています。こうした業績を裏付けるように運航動向も8月の国際線は、4割まで回復し、国内線は臨時便を増発します。

ANAの8月の国際線は運航率37%まで回復し、国内線の運航率は94%（フレスリウス）ですが、国内幹線3路線（沖縄、札幌、福岡）だけで臨時便は100便に上ります。JALの8月の国際線は運航率が46%まで回復し、国内線は計画通りの運航に加え同3路線でANAを上回る臨時便を計画しています。

羽田は外航などの国際線の減便分を国内線の臨時便に充てている」と話します。

今後のコロナ感染の拡大の影響が懸念されますが、すでに航空会社の職場でも感染者が増加によって出勤率が計画を下回る事例も報告されています。人員の確保、熱中症対策など万全な繁忙対策が求められます。

安全会議だより 157

那覇空港 第2滑走路の安全性が向上 誘導路中心線灯設置など改善

「はいさーい、さーよー、ちゅーがなび」(皆さんこんにちは) 航空安全会議沖縄支部ではパイロットや航空管制官をはじめ那覇空港で働く人たちの環境整備や沖縄県内の航空安全の諸問題を解決するための活動を行ってまいります。

今年も5月下旬に那覇空港事務所や沖縄県庁へ安全申請を行いました。那覇空港では第2滑走路が供用されたことによりいくつかの課題が生じて



那覇空港を離陸する航空機

おり、その課題解決について特に重点的に行う計画をしております。その結果、那覇空港において走行帯の増えた誘導路の一部に誘導路中心線灯が設置され、来年度より滑走路状態表示灯(RWSL)の設置や地上走行車両にトランスポンダーが搭載されるなど安全性の向上に繋がる回答を得ることが出来ました。あわせて、滑走路の安全問題等に対処することを目的として空港毎に設置が推奨されているRunway Safety Team(RST)が今年より那覇空港で発足しました。現状、運航業務がRSTに参加する立場にはありません。

が、空港を取り巻く安全問題にパイロット側の意見は必要不可欠と見え、来期に向けた取り組みの方向性などについて議論を行いました。また、各支部が抱える諸問題についても活発かつ建設的な議論が交わされました。

また、FIACに対しては、灯火や標識の設置、RSTの設置などを要請しました。FIACからあくまで空港の運営権を委託されている

沖縄県の玄関口である那覇空港で、一層、安全で安心となるよう、引き続き安全会議沖縄支部は空に携わる皆さまとともに、安全問題の解決を求めています。

また、FIACに対しては、灯火や標識の設置、RSTの設置などを要請しました。FIACからあくまで空港の運営権を委託されている

航空安全会議は7月6-7日福岡で全国幹事会を開催するとともに、福岡国際空港株式会社(FIAC)に対して、福岡空港にかかわる安全要請を行いました。

全国幹事会には本支部も、空港を取り巻く安全問題にパイロット側の意見は必要不可欠と見え、来期に向けた取り組みの方向性などについて議論を行いました。また、各支部が抱える諸問題についても活発かつ建設的な議論が交わされました。

人員不足で混乱する欧州の空港 賃上げなど労組と空港が協定

ITFニュース

コロナ禍で航空労働者を大幅に削減してしまった職場は、今大変な混乱の中にあります。欧州の代表的な空港の一つであるオランダ・スキポール空港も混乱に見舞われました。その状況を抜本的に改善することを目指した歴史的な協定がこのほど締結されました。

オランダの組合の連合体は、このCovid-19後の夏の賃金引上げや、この状況を長期的な観点で改善するために、Amstelveen・スキポール空港と協定を結びました。それは、空港管理者に賃金の条件と水準に対する責任を課すもので、空港で直接働く労働

者だけではなく、警備員や、バスの運転手、清掃職員など、下請け業者にも雇用されている者も含め



労組と協定を結んだスキポール空港

たスキポール空港で働く全ての労働者を対象とする歴史的な内容となっています。

国際運輸労連(ITF)はオランダの組合連合FNVとCNV、およびスキポール空港管理者との間の取りきめを歓迎しています。

ITF事務局長のステファン・コトンは、「現在の異常な状況は、Covid-19のパンデミックの際に、回復の計画を立てることなく、何千もの熟練した航空労働者の仕事を削減した結果です。私たちは業界から100万人以上の労働者を失いました。乗客が戻ってきた今、残りの労働者は、人々の仕事を強いられています。これまでの空港、航空会社、政府による不適切な決定により、旅行者は遅

延、土壇場のキャンセル荷物を受け取るための長時間の待機に直面しています。これは、世界中の組合が警告していることです。」

①ハイブリッド中(6/19/5)のポナス支給、オランダの5月の休暇(4/23/5/9)をおよびするポナスの支給、今年9月/来年9月、1時間あたり1.40ユーロのボーナス支給。

②公共交通機関で通勤するための費用増加、無料駐車場の提供、③夏休み期間、年次休暇を10日間連続することが保証される、④空港で働くための「社会的権限」をFNVと協力して作成する。

⑤グランド/ドリンゲン

会社、航空会社はFNVとの間で「運用ライセンス」を発行し、空港で活動するグランド/ドリンゲン会社の数を減らしていく。⑥定期的に労働者の作業負担と乗客の状況・状態を調査する。

この協定内容についてITF・コトンは、「この画期的な合意を達成したFNVとCNVを祝福します。これは、私たち全員が経験しているパンデミック後の混乱から抜け出す方法を探している他の空港にとって貴重な良いモデルと見えます。今こそ他の空港も同じ事をしてスタッフをアップすべきです。私たちがいつでも参考となる事例です。」

チーム名で世界大会に参加していることも知らまされた。代表の話によると

全米でのBBQ大会は大台わせ年間500〜600回、規模が最大のものはテキサス州で行われる「インフレストックショール」が有名で、4日間で100万人の人が集まるそうです。競技にはレストランのシェフなど料理のプロフットボールから、ごく普通の一般社員までがエントリーするそうで、それぞれが仕込みの何時間か、なんと2日近くも肉の塊をじっくりと焼くこともあるそうです。BBQに一般社員がおすすめです。めり込むのが驚きですが、好きなことを続けるために多くの時間エネルギーをかける価値に感じています。

ささげます。

り相づい」と回答しました。

航空安全会議は、引き続き、さまざまな段階から、航空の安全を追求していきます。

延、土壇場のキャンセル荷物を受け取るための長時間の待機に直面しています。これは、世界中の組合が警告していることです。」

延、土壇場のキャンセル荷物を受け取るための長時間の待機に直面しています。これは、世界中の組合が警告していることです。」

延、土壇場のキャンセル荷物を受け取るための長時間の待機に直面しています。これは、世界中の組合が警告していることです。」

延、土壇場のキャンセル荷物を受け取るための長時間の待機に直面しています。これは、世界中の組合が警告していることです。」

延、土壇場のキャンセル荷物を受け取るための長時間の待機に直面しています。これは、世界中の組合が警告していることです。」

延、土壇場のキャンセル荷物を受け取るための長時間の待機に直面しています。これは、世界中の組合が警告していることです。」

矛と盾、卓越した頭脳と技術の持ち主の戦い

さいおう たて 塞王の楯

今村 翔吾 著



最近の新聞は7000円以上のので本屋にたぐさず平置きで読んでみたところ、なかなか手が届かない。そんな時、

同じマンションに住む遊び仲間のKさんから「この本面白かったよ」と私のポストに投げ入れおいてくれたのがこの本です。

実はこの本だけではなく、歴史本にはまったく次々と新刊本が5冊も投げ込まれて

うれしい思いでいっぱい。早速大きいサイズをお礼に持ってきました。なぜなら新刊本がバカバカ面白くなるのか？と聞いたところ「えへへポイントだよ」とのこと。推察するに「ポイント」でマイルやポイントがたまってる新刊本に化けたようです。いろんな使い道があるので、さて本書ですが、昨

年の直木賞受賞本ですが、面白くないわけがありません。絶対に破れない石垣を造ろうとする飛田良介と、どんな城をも落とす砲を造ろうとする国友彦九郎。「矛」と「盾」、卓越した頭脳と技術の持ち主が戦いを交えます。ロシヤのウラヤイナへの侵攻後、胸が痛くなる戦争が頭をよぎります。時代こそ違いますが、本書のように戦いの結果はこうあってほしいとも思います。

航空の職場も見渡すと依然厳しい状況が続いています。働く人たちの笑顔が早く戻ってほしいことを願います。

けんごむ

暑い夏がやってきます。「夏といえばバーベキュー」と思う人も多いのではないのでしょうか。野外でお肉や野菜を炭を焼いて食べるのと、いつもの業務用スーパーの安いお肉も格段に美味しく感じるものがあります。

バーベキューが大人気のアメリ力では、なんと世界大会まで開催されています。日本にも「日本バーベキュー協会」という団体があり、「BBQ SHOWGUN」というチーム名で世界大会に参加していることも知らま

された。代表の話によると